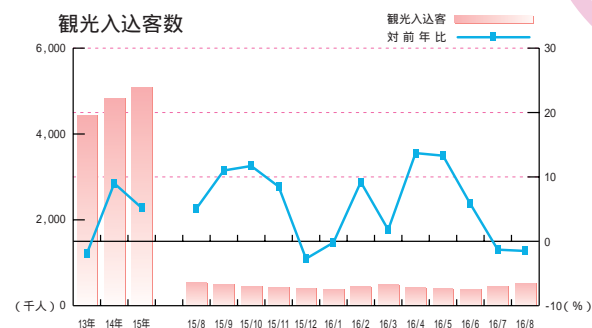




観光	経済動向
平成16年10月 台風の影響などがみられるものの高水準を維持	（不変）
平成16年7月 高水準で維持	（不変）



観光
台風の影響などがみられるものの高水準を維持

観光を観光入込客数でみると、台風の影響などがみられるものの、引き続きフリープランが人気となっており、高水準を維持している。なお、主要ホテルの客室稼働率は、ホテルの新設が相次いだことによる宿泊客の分散などから低下している。一方、客室単価は、値戻しの動きが続いており、前年を上回っている。観光関連施設の入場者数は、美ら海水族館のオープン効果が一巡したことから、前年を下回っている。

雇用情勢
改善の動きが続いている

雇用情勢をみると、有効求人倍率は緩やかにながらも改善の動きが続いている。新規求人数、県外からの受入人数は引き続き増加しており、就職件数も増加している。このように、改善の動きが続いている。

住宅建設
持家、貸家、分譲でいずれも前年を下回っていることから、全体でも前年を下回っている。

設備投資
十六年度は、十二・六％の増加見通し（上期〇・五％増、下期二三・八％増）。業種別にみると、製造業は減少見通し、非製造業は増加見通しとなっている。

公共事業
公共工事前払金保証請負額（累計）でみると、全体では前年を下回っている。

企業収益
十六年度は、六・一％の増益見通し（上期十六・九％増、下期三・五％減）。業種別にと、製造業、非製造業ともに増益見通しとなっている。

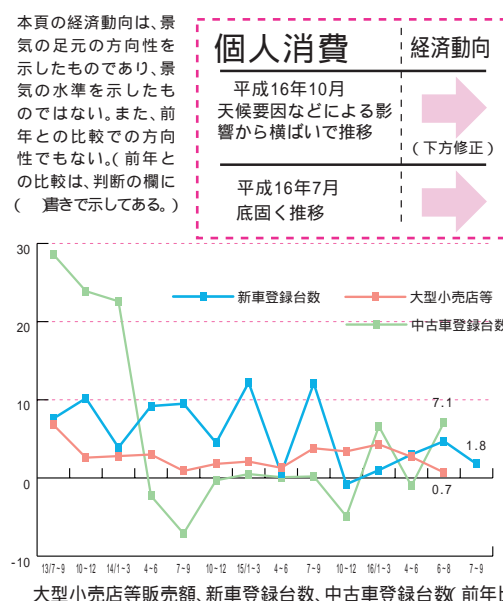
企業の景況感
現状（十六年七～九月期）は、下降「超」。先行きは、上昇「超」に転じる見通し。

管内経済情勢報告

管内経済は、台風等の影響から一服感がみられるものの、持ち直しの動きが続いている。
先行きについては、持ち直しの動きが持続する見込み。



生産活動は盛り上がり欠け、個人消費は天候要因などによる影響から横ばいで推移し、雇用情勢は改善の動きが続いており、観光は台風の影響などがみられるものの高水準を維持している。先行きについては、観光が高水準で推移し、個人消費は底固く推移すると見込まれることから、持ち直しの動きが持続する見込み。



個人消費
平成16年10月
天候要因などによる影響から横ばいで推移
（下方修正）
平成16年7月
底固く推移

本頁の経済動向は、景気の足元の方向性を示したものであり、景気の高水準を示したものではない。また、前年との比較での方向性でもない。（前年との比較は、判断の欄に「書きで示してある。」）

先行きについては、主要スーパーの食料品やコンビニエンスストアが引き続き堅調なことや台風シーズンが終了することから、当面、底固く推移するものと見込まれる。

個人消費をみると、百貨店は郊外への大型スーパー出店の影響などから依然として前年を下回っている。主要スーパーは、昨年の猛暑の反動や台風の影響などがみられるものの新規出店効果により主力の食料品が堅調なことからは前年並みとなっている。コンビニエンスストアは堅調に推移している。

耐久消費財では、家電量販店は、エアコンが昨年の猛暑の反動により低調なことなどから、前年を下回っている。自動車販売は、新車販売が、普通乗用車や軽乗用車が好調なことなどから、前年を上回っている。中古車販売は、堅調に推移している。このように、個人消費は、全体としてみれば、天候要因などによる影響から、横ばいで推移している。

先行きについては、主要スーパーの食料品やコンビニエンスストアが引き続き堅調なことや台風シーズンが終了することから、当面、底固く推移するものと見込まれる。

個人消費
天候要因などによる影響から横ばいで推移

個人消費をみると、百貨店は郊外への大型スーパー出店の影響などから依然として前年を下回っている。主要スーパーは、昨年の猛暑の反動や台風の影響などがみられるものの新規出店効果により主力の食料品が堅調なことからは前年並みとなっている。コンビニエンスストアは堅調に推移している。

耐久消費財では、家電量販店は、エアコンが昨年の猛暑の反動により低調なことなどから、前年を下回っている。自動車販売は、新車販売が、普通乗用車や軽乗用車が好調なことなどから、前年を上回っている。中古車販売は、堅調に推移している。このように、個人消費は、全体としてみれば、天候要因などによる影響から、横ばいで推移している。

先行きについては、主要スーパーの食料品やコンビニエンスストアが引き続き堅調なことや台風シーズンが終了することから、当面、底固く推移するものと見込まれる。

生産
一部に動きがみられるものの、盛り上がり欠ける

生産活動を見ると、窯業土石では、生コンは前年並みになっているものの、全体では前年を下回っている。

また、食料品では、泡盛は好調に推移し、パンも順調なもの、清涼飲料、嗜好飲料などが天候要因もあつて低調なことなどから、全体では前年を下回っている。

このように、生産活動は一部に動きがみられるものの、盛り上がり欠ける。

総括判断

平成16年10月
管内経済は、台風等の影響から一服感がみられるものの、持ち直しの動きが続いている。先行きについては、持ち直しの動きが持続する見込み。

平成16年7月
一部に厳しさがみられるものの、全体として持ち直しの動きが強まっている。

経済動向
（下方修正）

（不変）

